『京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター紀要』投稿規程

1. 投稿原稿はラテンアメリカを対象にした学術的な内容で、未発表のものに限る。

2. 使用言語

原稿執筆に際して使用する言語は、日本語・スペイン語・ポルトガル語・英語とする。

3. 投稿区分

投稿の区分は、論文、研究ノート、調査研究報告、研究展望・動向、書評、その他（史・資料紹介など）とする。書評、その他を除き、いずれも「序論」「本文」「結論」「参考文献」によって構成されるものとする。

4. 投稿申込・原稿提出期限

投稿申込期限は 7 月 15 日、原稿提出期限は 9 月 15 日とする。

申込みの際、氏名・所属、投稿の区分、タイトル（仮も可）をメールで編集委員会まで連絡すること。

5. 原稿の分量

以下の文字数／語数を目安として執筆すること。なお、図、表、写真が含まれる場合はその基準内に収めること。

和文原稿

A. 論文	20,000～24,000 字程度
B. 研究ノート	10,000～16,000 字程度
C. 調査研究報告	8,000～20,000 字程度
D. 研究展望・動向	4,000～8,000 字程度
E. 書評	3,200 字程度
F. その他（史・資料紹介など）	3,200 字程度

欧文原稿

A. 論文	10,000 語程度
B. 研究ノート	8,000 語程度
C. 調査研究報告	8,000 語程度
D. 研究展望・動向	4,000 語程度
E. 書評	1,200 語程度
F. その他（史・資料紹介など）	1,200 語程度

6. キーワードと要旨

論文および研究ノートにはキーワード５語及び要旨を付すこと。和文原稿の場合は日本語のキーワードに外国語のキーワードを併記し、欧文要旨（200語程度）を付すこと。欧文原稿の場合は外国語のキーワードに日本語のキーワードを併記し、和文要旨（400字程度）を付すこと。要旨とキーワードは本文とともに掲載する。

7. 形式

原稿は Microsoft Word で作成し、E メールに添付して編集委員会に送付すること。欧文原稿については、事前にネイティブチェックを入れること。原稿は別に定める執筆要項に従って作成すること。投稿規程および執筆要項に沿っていないものは不受理となる場合もある。

8. 投稿申込み・原稿送付先

京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター

E-mail：ielak@kufs.ac.jp

9. 審査

採否は、匿名の査読者による審査を経て編集委員会によって決定される。編集委員会より原稿の修正を願うことがある。提出された原稿は、その採否にかかわらず原則として返却しない。

10. 公開方法

掲載が決定した原稿は、『京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター紀要』として電子出版されるほか、当研究センターウェブサイトに公開し、京都外国語大学・京都外国語短期大学機関リポジトリに登録のうえ公開する。

11. 個人情報の管理

投稿の際に提出された個人情報については、編集委員会が責任を持って管理し、その使用は『京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター紀要』の出版に関する事柄に限られる。

12. 著作権

i) 本誌に掲載された論文等の著作権は京都外国語大学ラテンアメリカ研究センターに帰属する。

ii) 万一、本誌に掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められる場合、執筆者がその一切の責任を負う。

『京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター紀要』執筆要項

(1) 原稿執筆に際して使用する言語は、日本語・スペイン語・ポルトガル語・英語とする。

(2) 原稿は原則 Microsoft Word で作成すること。A4 またはレターサイズ、フォントは和文原稿の場合 MS 明朝（11 ポイント）、ローマ字・数字および欧文原稿の場合は Arial または Times New Roman（12 ポイント）を使用する。

(3) 和文原稿には欧文タイトルを付け、執筆者名をローマ字で記すこと。欧文原稿には和文タイトルをつけ、執筆者名を片仮名で表記すること。

(4) 論文および研究ノートにはキーワード（以下 k/w とする） 5 語及び要旨を付すこと。和文原稿の場合は日本語と外国語の k/w を併記し、欧文要旨（200 語程度）を付し、事前にネーティブチェックをいれること。欧文原稿の場合は外国語と日本語の k/w を併記し、和文要旨（400 字程度）を付すこと。要旨と k/w は本文とともに掲載する。

(5) 表記について（和文原稿の場合）

i) 外国の固有名詞の表記方法。文中において外国の固有名詞を欧字のまま記さない。初出の外国の固有名詞は、片仮名で書き、括弧して欧字を記すこと。但し、一般的な語の場合はその限りではない。固有名詞の片仮名表記は、原則として原音に即すること。

ii) 複数の語からなる外国の固有名詞（地名や人名など）における表記の方法、および国名の表記は執筆者に一任する。

iii) 外国語の単位（度量衡や貨幣など）は文中ではキログラム、ヘクタールのように片仮名で書き、図表では kg、ha などの記号を使用する。

iv) 文中の数字は半角のアラビア数字を使用し、万以上は漢数字を用いる。図表において単位を表す場合は「千 km」「千 ha」のように漢数字を用いる。

(6) 章立て

章は 1、2.....、節は 1.1、1.2.....、とする。末尾の数字の後ろに点（.）はつけない。

(7) 注のつけ方

i) 注は文末脚注とする。

ii) Microsoft Word の脚注機能を使用し、通し番号とする。

(8) 参考文献の文中表記について

i) 参考文献の出典については引用箇所の終わりに（著者名　出版年：ページ数）を記し、文末に文献リストを記すこと。

例）（伊藤 1997:29）、（Wood 2014:23-25）

ii) 同一著者による複数の引用文献がある場合

例）（Okoshi Harada 2001a, 2001b）

（牛島 1994、2005）

iii) *Ibidem, ibid., id.; loc. cit; op. cit.*は使わない。

iv) 一か所に複数の著者による引用文献がある場合は著者の姓を、和書の場合は 50 音順に、洋書の場合にはアルファベット順に並べる。

例）（川本 2004; 住田 2006; Valls 1996; Webster 2001）

v) 史料の文中引用について。初出のみ所蔵機関のフルネームを付し、次に略号を記す（Archivo General de Indias, 以下 AGI と略す, México, 140, R. 2:13-15v）。次の引用からは、例えば（AGI, México, 140, R. 2:21-22v）とする。

(9) 図表について

i) 表と図（写真、地図を含む）は通し番号とする（例：表 1、表 2、…／図 1、図 2、…）、欧文（スペイン語/ ポルトガル語/ 英語）の場合、表については Tabla/ Tabla/ Table、図や写真、地図については Figura/ Figura/ Figure とする。各数字の後に点（.）等は付さない。

ii) 表は EXCEL 形式、図・写真・地図は TIFF 形式および JPEG 形式で作成のこと。

iii) 図表等のキャプション（タイトル）は、図像には組み込まず、その下の本文中に別途付すこと。図表キャプションの文字サイズは 9 ポイントとする。

iv) 図表の出典を必ずキャプションに明記すること。筆者自身が撮影した、あるいは作成した写真や原図の場合、その必要はない。転載する場合はその出典を明らかにし、必要に応じて使用・出版許可証を添付すること。

v）表ファイルは 300 dpi 以上、図・写真・地図ファイルは 600 dpi 程度がのぞましい。

vi）図表や写真・地図は本文中の当該箇所に挿入する。また、図表は作成したソフト形式（EXCEL、TIFF、JPEG）のファイルとともに、PDF に変換したファイルもあわせて別途提出すること。

(10) 参考文献（Bibliografía/ Bibliografia/ References）

参考文献は和文、欧文の順に、それぞれ分けて作成し、和文文献は著者姓の 50 音順に、欧文文献は姓、名の順に記載し、姓のアルファベット順にまとめること。同一著者で複数の文献がある場合は発行年の古い順に並べること。同一著者で同年発行のものが複数ある場合には 2006a、2006b、のように発行年に abc をつける。

i）参考文献の表記は以下の通りである。

a）単著本（公刊史料を含む）：著者名　出版年、『書名』、出版社。
例）

大垣貴志郎
2008　『物語メキシコの歴史－太陽の国の英傑たち』、中公新書。

Ciudad Real, Antonio de
2001　*Calepino maya de Motul*. René Acuña(ed.). Plaza y Valdés Editores, México D.F.

Brainerd, George W.
1958　*The Archaeological Ceramics of Yucatan.* University of California Press, Berkeley.

de la Garza, Mercedes, Ana Luisa Izquierdo, Ma. del Carmen León y Toliga Figueroa (eds.)
1983　*Relaciones histórico-geográficas de la Gobernación de Yucatán.* 2 vols., Universidad Nacional Autónoma de México, México D.F.

Sarabia Viejo, María Justina
1978　*Don Luis de Velasco, virrey de Nueva España (1550-1564)*. Consejo Superior de Investigaciones Científicas, Sevilla.

b）本の章 : 章の著者名　出版年、「章タイトル」、本の編著者名、『所収書名』、出版社、（欧文の場合、出版地）、該当ページ。

例）

モイゼス・カルヴァーリョ
2008 「ブラジルの教育：多様性の国における希望」、富野幹夫編『グローバル時代のブラジルの実像と未来』、行路社、69-93 頁。

Boone, Elizabeth H.
2003 “A Web of Understanding: Pictorial Codices and the Shared Intellectual Culture of Late Postclassic Mexoamerica”. In Michael E. Smith and Frances S. Berdan (eds.), *The Postclassic Mesoamerican World.* University of Utah Press, Salt Lake City, pp. 207-221.

Garciadiego, Javier
1996 “La Revolución”. En Pablo Escalante Gonzalbo, Bernardo García Martínez, Luis Jáuregui, et al., *Nueva historia mínima de México*. El Colegio de México, México D.F., pp. 225-261.

Iannone, Gyles, Arlen F. Chase, Diane Z. Chase, Jaime Awe, Holley Moyes, George Brook, Jason Polk, James Webster, and James Conolly
2014 “An Archaeological Consideration of Long-Term Socio-Ecological Dynamics on the Vaca Plateau, Belize”. In Gyles Iannone (ed.), *The Great Maya Droughts in Cultural Context: Case Studies in Resilience and Vulnerability.* University Press of Colorado, Boulder, pp. 271-300.

c) 雑誌論文：著者名　出版年、「論文名」、『雑誌名』、巻・号、ページ数。

例）

住田育法
2006 「旧都リオデジャネイロにおける低所得者層共同体誕生の歴史研究」、『京都ラテンアメリカ研究所紀要』、第 6 号、91-115 頁。

Lozoya, Xavier
1999 “Un paraíso de plantas medicinales”. *Arqueología mexicana* 7(39):14-21.

Mullins, Paul
2011 “The Archaeology of Consumption”. *Annual Review of Anthropology* 40:133-144.

Quintana, Oscar, and Wolfgang Wurster
2002 “Un nuevo plano del sitio maya de Nakum, Petén, Guatemala”. *Beiträge Zur Allegemainen und Vergleichenden Archäologie* 22:145-246.

d) 翻訳書：著者姓名　出版年、『書名』、訳者名、出版社、（欧文の場合、出版地）。

例）

マリアテギ、ホセ・カルロス
1999 『インディアスと西洋の狭間で―マリアテギ政治・文化論集（インディアス群書)』、辻豊治・小林致広訳、現代企画室。

Knorozov, Yuri
1967 *Selected Chapters from "The Writing of the Maya Indians"*. Tatiana Proskouriakoff (ed.), Sophie D. Coe (tras.). Peabody Museum of Archaeology and Ethnology, Harvard University, Cambridge.

e) 著者が複数の場合

例）

伊藤伸幸、柴田潮音、南博史
2009 「チャルチュアパ遺跡（エル・サルバドル共和国）の先古典期後期に関する一考察」、『名古屋大学文学部研究論集』、55 号、55-79 頁。

Cabrera, Rubén, Ignacio Rodríguez y Noel Morelos
1982 *Teotihuacan 80-82: primeros resultados*. Instituto Nacional de Antropología e Historia, México D.F.

Diel, Richard A., and Janet Catherine Berlo (eds.)
1989 *Mesoamerica after the Decline of Teothihuacan A.D. 700-900.* Dumbarton Oaks Research Library and Collection, Washington D.C.

Iannone, Gyles, Brett A. Houk, and Sonja A. Schwake
2016 *Ritual Violence, and the Fall of the Classic Maya Kings.* University Press of Florida, Gainesville.

f) 同一著者で複数の文献がある場合、同一著者で同年発行のものは複数ある場合

例）

大井邦明
1985a 『消された歴史を掘る–メキシコ古代史の再構成』、平凡社。
1985b 『ピラミッド神殿発掘記–メキシコ古代文明への誘い』、朝日新聞出版。
2007 「ティンガニオ・メキシコ西部の古典記文化」、『MUC 京都外大国際文化資料室紀要』、第 3 号、1-40 頁。

Okoshi Harada, Tsubasa
1995 "Gobierno y pueblo entre los mayas yucatecos postclásicos". *Universidad de México* julio-agosto(534-535):22-27.

2001a "Mito, historia y legitimación del poder entre los mayas postclásicos de Yucatán". En Ruth Gubler (org. y comp.) y Patricia Martel (ed.), *Yucatán a través de los siglos (Memoria del Simposio del 49 Congreso Internacional de Americanistas, Quito, Ecuador, 1997)*. Universidad Autónoma de Yucatán, Mérida, Yucatán, pp. 213-228.

2001b "Gaspar Antonio Chi Xiu: el que perpetuó la imagen de los Xiu". En Ueli Hostettler y Matthew Restall (eds.), *Maya Survivalism. Acta Mesoamericana,* vol. 12. Verlag Anton Saurwein, Markt Schwaben, Germany, pp. 59-72.

g) 新聞記事

新聞資料は、まとめて参考文献の後に入れる。

著者姓名、出版年、「記事名」、『新聞名』、発行月日。

例）

安部美香子
2017　「時代を映すバベルの塔」、『朝日新聞』、3 月 26 日。

（匿名記事の場合）
日本経済新聞
2017　「メキシコへの投資意欲、今年度初の低下」、3 月 27 日。

h) インターネット資料

インターネット資料は、まとめて参考文献の後に入れる。

日本語の場合

「web ページのタイトル」、URL、（最終閲覧日）

（例）
「ブラジルの政治情勢（５月の出来事）」
https://www.br.emb-japan.go.jp/files/100202678.pdf（2021 年 7 月 10 日閲覧）

外国語の場合

"web ページのタイトル"、URL、（最終閲覧日）

（例）
"Peru election: Why has no winner been declared? (17 June 2021)"
https://www.bbc.com/news/world-latin-america-57511485 （accedido el 24 de junio de 2021/ acessado em 24 de junho de 2021/ accessed June 24, 2021）

i) 一次史・資料

未公刊一次史・資料は参考文献から独立させ、参考文献の後に入れる。出版されている史・資料は、参考文献に含める。

(例)
史料
インディアス総合古文書館（Archivo General de Indias, Sevilla）
"Probanza de méritos y servicios del capitán don Juan Chan, cacique y señor de los pueblos de Chancenote y sus sujetos, 1622". Audiencia de México, Leg. 140, R. 2, fs. 11-37v, 1-19.

(11) 採択が決定した原稿の執筆者校正は初校のみとし、その際の大幅な加筆や内容変更は認めない。その他、必要な事項については編集委員会で決定する。